

環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP) 第7回TPP委員会の機会における閣僚共同声明(仮訳)

Ka mahuta a Matariki i te pae, ka mahuta ō tātou tūmanako ki te tau

マタリキが地平線に昇る時、これからの一年に向けて、私たちの願いも昇っていく。

Matariki hunga nui – 人々を集めるマタリキ

1 7月16日、ニュージーランド(Aotearoa)主催で、第7回TPP委員会会合がオークランド(Tāmaki Makaurau)で開催された。豪州、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド(Aotearoa)、ペルー、シンガポール、ベトナム及び英国を代表する閣僚及び高級実務者は、以下の声明を承認した。マオリ暦の新年の到来を告げるマタリキの期間中に会合が行われているため、我々は、この時期の重要性及びマタリキがどのようにCPTPP参加国の共通の願いをかき立てるかを表す、ワカタキ(ことわざを意味する。)を用いて我々の共同声明をまとめた。

2 マタリキは、共同体にとって集まって祝う時期である。チリによる協定の批准及び2月21日の同国についての発効を歓迎することは、我々にとって大きな喜びである。我々は、同様に、ブルネイによるCPTPPの批准及び7月12日の同国についての発効を正式に認識することを嬉しく思う。これらのエコノミーが加わることは、2023年が、CPTPPの原署名国全てが批准し、全てが締約国として参加することができる最初の年となることを意味する。これは、貿易と投資を通じてアジア、南北アメリカ及び太平洋をつなぐ協定としてのCPTPP本来のビジョンを実現するものである。また、参加国は、CPTPPの最新の参加国である英国が初めて委員会に出席すること、それにより協定が地域を越えて拡大することを歓迎する。

3 保護主義の再拡大、進展中のパンデミックからの回復によるインフレーションや不安定性の高まり及び紛争の時世において、我々は、経済的威圧に対応する手段であることも含め、WTOを中核とするルールに基づく貿易システムを堅持するという共通のコミットメントを再確認した。現在及び将来における経済成長の原動力として、アジア太平洋地域の重要性は高まり続けている。地域が、開かれ、安定的で、繁栄し、予測可能で合意されたルール、基準、法によって運営されるとともに、同地域の全ての国が威圧から開放されるよう確保することは、我々全員にとっての利益である。

4 我々は、CPTPPが、強靱なサプライチェーンを促進し、世界的なバリューチェーンの安全を確保することにより、経済統合を推進し続けることを確保することを約束する。我々は、これらが我々の集団的な繁栄とより広範な安全保障の礎であり続けることを認識する。

Matariki ahunga nui – マタリキの偉大な塚に、食べ物が集められ、共有される

5 我々は、雇用、生産性及び所得の向上を促進する上で、貿易が果たす極めて重要な役割を認識し、これらの恩恵が社会全体において共有され、特にあらゆる多様性における女性、先住民、零細・中小企業及び我々の経済の中で十分に代表されていないその他のグループ、全ての地域が貿易から恩恵を受けることへの継続的なコミットメントを改めて断言する。この目的のため、我々は、CPTPPが引き続き包摂的かつ持続可能で世界的な貿易の取り決めの最先端にあること及び参加国による協定の実施が全ての国民に好影響を与えることを確保するため、一層努力する。

6 我々は、貿易と環境との強い結びつきを認識し、CPTPPが相互に補完的な貿易及び環境に関する政策を促進する世界的な努力の最前線にあり続け、我々の共通の環境課題への対処に貢献すべきであることを強調する。特に、我々は、CPTPPが漁業補助金に関して果たした先駆的な役割を認識し、WTOにおける漁業補助金協定の採択を歓迎し、その早期発効及び効果的な実施を求める。2023年、締約国は、気候変動への対処における通商政策の役割を認識し、生物多様性保全、循環経済、気候変動イノベーションについて協議した。我々は、環境章の効果的な実施を支援する環境小委員会における継続中の協力及び実施に係る作業を歓迎する。

7 我々は、異常気象による貿易及び経済への影響を含め、気候変動が締約国に与える悪影響を認識する。我々は、CPTPPの効果的な実施が、相互に補強し合い、本質的に結びついている気候変動、生物多様性の損失及び環境汚染という前例のない三重の世界的危機への対処に貢献すべきであることを強調する。環境章の見直しにより、締約国は、CPTPPの貿易及び環境に係る規定の実施、運用及び貢献を評価し、締約国が現在直面している気候変動を含む深刻化する環境課題に関する勧告について検討することが可能となる。

8 我々は、CPTPPがデジタル経済を前進させ続けることを確保するための継続中の努力を支持する。これは、締約国による電子商取引章の実施を検証するための2022年に委託された調査に係る考察を含んでおり、その考察は、締約国がこの面での更なる取組をどのように促進できるかを検討するための有用な参考となるだろう。電子商取引小委員会は、デジタル貿易を促進するために現行の法律及び規制をいかにして見直すことができるかについて検討するための基礎となる作業も開始した。我々は、デジタル経済の恩恵を全ての人々が享受できるようにするために、データデータ流通の促進やシステムの相互運用性の促進を含め、デジタル貿易に関してベストプラクティスを共有し、協力を促進することの重要性に留意する。

9 効率的な貿易の重要性に鑑み、我々はCPTPPに組み込まれたTPP協定第5章(税関当局及び貿易円滑化)の下に、特別作業部会を設置することを決定した。同作業

部会は、2023年のワーク・プログラムを実施するため、必要に応じて開催される。同作業部会は、第5章の効果的な実施に向けた作業を含め、CPTPPの下で活動する企業の取引費用削減に焦点を当てる。

10 我々は、CPTPPに組み込まれたTPP協定第27・2条1(b)に従い、3年目の一般的な見直しを進めることを期待する。同見直しのプロセスは、協定の継続的な妥当性を維持し、貿易協定の「ゴールドスタンダード」であり続けることを確保するために不可欠である。我々は、CPTPPが、その野心と範囲について世界的な貿易協定の最先端であり続けることを確保するために、協定のルール及び規律と、変化するグローバルな動向との歩調を合わせる必要があることを認識する。

11 同見直しの優先事項は、CPTPPを最大限に活用することを支援し、特に中小企業による CPTPP の理解を改善することである。CPTPPが女性、先住民の経済的エンパワーメント及び持続可能な環境の取組を支援する貿易の成果をもたらすことを確保することは、CPTPPに対する継続的な公の支持のために極めて重要である。

Hiwa-i-te-rangi -その星の役割は、明るく輝き、前進するモチベーションを与えることである。

12 我々は、英国を、CPTPPのハイスタンダードが維持されることを確保した確固たるプロセスを通じてCPTPPに加入する最初のエコノミーとして歓迎する。

13 我々は、加入作業部会(AWG)によって提出されたCPTPPへの英国の加入のための条件を承認した。本日のこの機会に、我々は、オークランド及びバンドルスリブガワンにおいて、英国の加入議定書に署名したことを嬉しく思う。

14 G7メンバー、世界第6位の経済を有するエコノミー、そして高い基準とルールに基づいた貿易にコミットするエコノミーである英国のCPTPPへの加入は、参加国にとって大きな利益をもたらすものであり、我々は心強く思う。同様に、我々は、英国は、世界で最もダイナミックな貿易圏の一つに更に統合され、世界の国内総生産(2022年)の約12%を占め、5億人以上の人口を擁する貿易圏へのアクセスを獲得することで恩恵を受ける立場にあることにも留意する。

15 マタリキの星のように、英国の加入は、他の国々にとっての道を照らし、将来の成長への我々の希望の予兆となる。

16 我々は、複数のエコノミーからのCPTPP参加への継続的な関心の高まりに留意する。それはCPTPPの強さと価値を示している。我々は、更に6つの加入要請が示されていることを認識し、CPTPPがダイナミックかつ生きたものであり続けることを確保する

加入手続の重要性を認識する。

17 我々は、協定のハイスタンドを満たす用意があり、貿易面でのコミットメントを遵守する行動を示してきたエコノミーによる加入要請に対してCPTPPが開かれていること、それによって、加入手続を通じてCPTPP参加国にとっての利益は拡大し続け得ることを再確認する。

18 我々が、英国の加入手続と同加入手続から得られた経験から学ぶことは、加入手続を効率的で、公正で、質が高く、加入要請エコノミーにとって魅力的なものとしていく上で不可欠であることと認識する。これに関して、全ての参加国の関心を反映し、CPTPPのハイスタンドを維持する形で、参加国が一体となって加入手続を進める方法について継続して議論を行う。

19 参加国は、加入要請エコノミーの貿易面でのコミットメントに関する経験を考慮して、加入要請エコノミーがCPTPPのハイスタンドを満たすことができるかどうかに関する情報収集プロセスを現在実施している。

20 我々は、集められた情報が、加入要請エコノミーについての加入手続の開始を含め、CPTPP参加国によってとられるいかなるプロセス、結果、決定又は行動を予断するものではないことを再確認する。

21 我々は、6月28及び29日にワイカトにおいて開催された先住民貿易会合からの結果の概要の説明を受けた。ニュージーランドは、議長国として、より高い透明性を確保し、世界貿易に対する公衆の支持を強化するとの我々のコミットメントの一環として、利害関係者に定期的に報告を行ってきた。

22 次回のTPP委員会の会合は、2024年にカナダによって主催される予定である。

Mānawa maiea te putanga o Matariki, Mānawa maiea te ariki o te rangi, Mānawa maiea te Mātahi o te Tau. Whano, whano, Haramai te toki ata huakirangi, Haumi e, Hui e, Tāiki e!
マタリキの上昇を祝い、空の主を祝い、新年を祝い、団結しよう、団結して夜明けをもたらし、共に、団結して、我々是一つだ！